

基本方向4 幼児教育の充実のための環境づくり

子供が夢中になって遊べる環境にしましょう

幼児教育は、教育現場はもちろんのこと、家庭や地域社会においても幅広く行われるものであるため、幼児教育の充実に向けて、関係する全ての主体（家庭・地域社会・教育現場・行政）がそれぞれの役割を的確に果たし、連携して取り組むことが必要です。宮城県は、幼児教育に関係する各主体と連携しながら、幼児教育センターを中心として教育現場における幼児教育の内容面の質の向上を図る取組を行うとともに、親の学びや体験活動の機会の提供など多様化する幼児教育へのニーズに応じた環境づくりを進めます。



取組7 幼児期の教育・保育の質の向上

子供の成長を
支援する
環境とは？

全ての子供への質の高い教育・保育の提供 教職員の資質・専門性の向上
教育現場の実態・課題などに応じた研修・支援 など

幼児教育と小学校教育の円滑な接続

幼児教育と小学校教育が円滑に接続するよう、交流活動や相互参観の実施など、幼児教育施設と小学校の間で幼児と児童や職員同士が相互に交流するとともに、合同研修会などを通して相互理解を深め、保幼小の連携を充実させましょう。

さらに、「志教育」とのつながりも見据え、幼児期に遊びを通して得た経験が、各教科などの学習に生かされてつながるよう、保幼小接続期カリキュラムを作成し、実践してみましょう。

幼児教育の質の評価

教育現場における教育・保育の質の向上のため、評価を通じた運営改善にも取り組んでみましょう。

評価は、それ自体が目的ではなく、重点的に取り組むべきことを把握し、その伸長・改善に取り組むことが目的です。教育現場それぞれの実態や課題に応じて、PDCAサイクルによる評価手法を整え、運営改善に確実につなげるとともに、より客観性の高い評価にするため、評価結果を家庭や地域社会に広く情報提供し、共有するとなおよいでしょう。

教職員の専門性の向上

幼稚園教諭・保育士・保育教諭などの役割を果たすために不可欠なことは、幼児教育の専門性を磨くことです。質の高い教育・保育を展開するために、日々の実践と振り返りや教材研究、研修などによる学びや気づきを通して、幼児教育に関する専門性や自己の能力を向上させましょう。

研修の実施主体は、経験年数や職能、施設類型の特性、今日的課題などに応じて研修内容の質を高めるとともに、教育現場においては、それぞれの実態や課題に応じて園内研修を充実させましょう。

幼児教育センターの整備と活用

幼児教育の内容面の質の向上を図るため、宮城県では「幼児教育センター」を設置し、公私・施設類型の区別なく、教職員の資質能力の向上や保幼小の円滑な接続のための研修、幼児教育アドバイザーの派遣による教育現場への支援のほか、これらの基盤となる調査・研究などの取組を行います。

教育現場においては、幼児教育センターの取組を積極的に活用し、子供たちが夢中になって遊ぶことができる質の高い環境づくりを常に意識した教育・保育を実践しましょう。